

## 音楽科 小学校第3学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	学年の歌 ・友だち		1		小学校第2学年 「うたでもだちのわをひろげよう」 ・メッセージ ・ずいずいっころばし ・ロンドンばし ・小犬のビンゴ	○年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	小学校第4学年 「学年の歌」 ・子どもの世界	■学年行事、集会活動等に歌い、思いを深める。
	こころのうた ・春の小川		2		「こころのうた」 ・かくれんぼ	○楽譜を見ながら階名で歌う。	「こころのうた」 ・とんび	■楽しい階名唱の工夫 ・1フレーズずつのリレー ・指導→子どもの交替唱
	楽譜を読もう ・ドレミで歌おう ・海風きって ・せんりつづくり	A(1)ア A(2)ア A(3)ア	5 (+2)	旋律の特徴を感じ取って表現したりせんりつづくりなどの活動の基礎となるため、ハ長調の曲に親しみながら読譜に慣れる必要がある。	「拍のまとまりをかんじとろう」 ・はしの上で ・たぬきのたいこ ・アラベスク、メヌエット 「音のたかさに気をつけてうたおう」 ・ドレミあそび ・ドレミのうた ・チャレンジ ・かっこう ・かえるのがっしょう ・ドレミであそぼ ・せんりつあそび	○ハ長調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら階名で視唱したりして、読譜に慣れるようにする。	「楽譜を読もう」 ・あわてんぼうのうた ・歌のにじ ・せんりつづくり	■読譜に慣れるために階名部分を書く、指さす、声に出して歌うを繰り返す。
6	こころのうた ・茶つき		2		「こころのうた」 ・虫のこえ	○歌のリズムにのって明るくのびのび歌う。	「こころのうた」 ・まきばの朝	■手遊びの導入で親む。 “せっせっせーのよいよい”
	リコーダーをふこう ・小鳥のために ・夕やけこやけ、小さな花	A(2)ウ	6			○リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身につけたりすることができるようにする。	「リコーダーをふこう」 ・雨の公園、子もり歌	■タンギングの指導 ・「トゥー」より「トー」で ・ほっぺたの動きで「フー」をみつける。
7	拍のながれこのろう ・とどけよう このゆめを ・新しい世界 ・坂道、雨上がり、白い雲 ・そよ風 ・せんりつづくり	A(1)イ B(1)ア A(3)ア	7		「拍にのってリズムをうたう」 ・この空とぼう ・いるかはざんぶらこ ・山のポルカ ・リズムあそび	○拍の流れにのって、拍子を感じ取りながら表現したり聴いたりすることができるようにする。 ○拍子にのって、きれいな音でリコーダーを演奏することができるようにする。	「拍の流れこのろう」 ・風のメロディ ・朝の気分 ・友達シンドバッド ・せんりつづくり	■「新しい世界」は、2人の声の響きに注目して聴く。
8								
9	いろいろな音色をかんじとろう ・トランペットふきの休日、アレグロ ・おかしなすきなまほう使い ・音づくり	A(3)イ B(1)アウ	7		「いろいろな音にしたしもう」 ・森のカーニバル ・音さがし、音あそび ・かぼちゃ	○いろいろな音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりすることができるようにする。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、音色や音量のバランスに気をつけながら、イメージに合う音を表現することができるようにする。	「いろいろな音色を感じ取ろう」 ・パディネリ、クラリネットポルカ ・音のカーニバル ・音づくり ・リズムアンサンブル	■比較鑑賞する。 ・トランペットとホルンの音色の違い等

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
10	「こころのうた」 ・うさぎ		1		「こころのうた」 ・夕やけこやけ	○日本に古くから伝わる歌の雰囲気 を味わいながら歌う。	「こころのうた」 ・もみじ	
11	「せんりつのとくちょうをかんとろう」 ・メヌエット ・山のポルカ ・一人の手 ・ゆかいな木琴 ・リズムばんそうづくり	A(2)イ A(1)イ B(1)ア	8		「ようすをおもいうかべよう」 ・人形のゆめとめざめ ・海とおひさま ・小ぎつね	○旋律の特徴を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりすることができるようにする。 ○旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫しながら演奏することができるようにする。	「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」 ・つるぎのまい、白鳥 ・陽気な船長 ・オーラ リー ・ゆかいに歩けば ・冬の歌 ・リズムばんそうづくり	■旋律の特徴を感じ取る。 ・曲の感じが変わったら、手を挙げる。 ・音と一緒に確かめる。
12	「こころのうた」 ・ふじ山		3		「こころのうた」 ・はるがきた	○曲の山を感じ取ってのびのびと歌う。 ○楽譜を見ながら階名で歌う。	「こころのうた」 ・さくらさくら	■歌声づくりをする。
1	「音の重なりをかんとろう」 ・歌おう声高く ・かね ・あの雲のように ・パフ ・リズムばんそうづくり	A(1)イ A(2)エ B(1)イ	9		「たがいの音をきこう」 ・どこかで ・ぷっかりくじら ・こぐまの二月	○旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりすることができるようにする。 ○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏することができるようにする。	「音の重なりを感じ取ろう」 ・パレードホッホー ・フェアランドール ・レッツ ダンス ・茶色の小びん	■部分二部合唱、リコーダーと鍵盤ハーモニカ奏による音の重なりを聴き合う。
2	「日本の音楽に親しもう」 ・祇園囃子、神田囃子	A(3)イ B(3)ウ	2			○日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や郷土の伝統音楽に親しむようにする。	「日本の音楽に親しもう」 ・ソーラン節、南部牛追い歌 ・トラジ打令、小さな淡黄色の馬 ・こきりこ ・リズムばんそうづくり	■2つのお囃子を比べながら聴く。
3	「音楽を楽しもう」 ・きょうりゅうとチャチャチャ ・バードウォッチング ・小犬のワルツ ・花のワルツ ・チャレンジ	A(1)エ B(1)ウ	5		「音楽を楽しもう」 ・えがおできょうも ・うたえバンバン ・トルコこうしんきょく	○今まで学習してきたことを生かして、音楽を表現する楽しさや聴く喜びを味わうことができるようにする。	「音楽を楽しもう」 ・ドレミの歌 ・山の魔王の宮殿にて ・はげ山の一夜 ・チャレンジ	■はっきりした発音で歌う。 ・母音→口を縦に開ける。 ・子音→S、K、Mの息、唇、舌の動きを意識する。
			60					